



一人は万人のために、
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

ふくしま



2026年7・8月号 第465号
発行責任者 山口 裕
<http://www.watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合
医療生協わたり病院
生協いいの診療所
医療生協わたり病院附属
ふれあいクリニックさくらみず

医療生協

TEL 024-522-1236 〒960-8141 福島市渡利字中江町66
TEL 024-521-2056 〒960-8141 福島市渡利字中江町34
TEL 024-562-4120 〒960-1301 福島市飯野町字後川27-2
TEL 024-559-2664 〒960-0241 福島市笹谷字塗谷地20-1

第60回

福島医療生活協同組合

通常総代会

2026年6月13日(土) ウィル福島アクティおろしまち

理事長あいさつ



理事長
あいさつ
齋藤 紀

始めに、1969年の福島医療生協の創立及び、1975年のわたり病院の創立に深くかわり、その後の発展に多大な貢献をされた丹治伸夫先生が3月31日にご逝去されました。福島医療生協をふくめ、広く福島市の地域医療発展にかけた愛情と努力に対して、あらためて心からの敬意と感謝を捧げたいと思います。長い間、ありがとうございました。

昨年、全国的に起きた地域医療の灯を消すような運動は、診療報酬改定にわずかですが前進をもたらしました。しかし、医療経営の危機は全く変わっていません。

WHO世界保健機構が警告的に発している言葉に「破滅的医療支出」という言葉があります。世帯収入から食費・光熱費等を差し引き、残りの支払い能力部分において医療費自己負担額が40%を超える場合、その「医療支出」を、生活を破綻に導く「破滅的医療支出」と呼びます。現政権の医療のコストカットはこの「破滅的医療支出」に陥らせるもので、許すことはできません。

また、厚生労働省は2028年度をめどに、地域医療の在り方を根本的に変えようとしています。それは「地域医療構想」と呼ばれるもので、個々の医療機関を単一の医療行為に特化させようとするものです。例えば、規模の大きい急性期拠点病院、高齢者の救急病院、在宅医療連携機能の病院等です。

しかし、地域住民の受診しやすさ、地域の緩やかな医療連携等を破壊する可能性があります。今後、提示される制度設計に慎重に対応する必要があります。

去る5月3日、福島市渡利にある瑞龍寺に九条の碑が建立されました。全国で82番目の建立です。現政権の際立った特徴は、平和と話し合いの外交に乏しく、武力を誇示せんとする政策に前のめりなことです。危険極まりない状況です。戦争を開始したら何物も生まれません。戦争は回避しなければなりません。

福島医療生協の理念は、「二人は万人のために、万人は一人のために」です。万人規模のケアの精神は、憲法前文と九条のもつ深く豊かな思想にこそ支えられるものと言えます。瑞龍寺に九条の碑を建立したことを広く伝達することが大切だと思います。



医療危機シリーズ

医療があぶない (前編)



福島県民主医療機関連合会事務局長

わたなべ よしひろ
渡辺 喜弘

戦前からの運動が実を結び、1961年に国民皆保険制度が実現しました。保険証があれば、どの医療機関にもかかることができ、お金の有無にかかわらず医療を受けることが可能になりました。老人医療費無料化も実現しました。

しかし、政府は、老人医療費無料化を「日本の医療政策最大の失敗」として政策の転換を行いました。患者負担を増やすとともに、医療保険からの「保険はずし」が始まりました。「入院時食事療養費」が創設され、診療報酬が上がっても連動しない、入院でも在宅でも食事

はとるだろうと、保険給付を減らしました。

次に「選定医療」として、患者の選択により特別の料金を支払うことで、保険外の診療と保険診療を併用できるようにしました。その代表が差額ベッドです。条件はあるものの、最大で半分のベッドで徴収可能となっています(わたり病院は差額ベッドを徴収していません)。医薬品にも保険はずしが向けられています。来年3月から「OTC類似薬の追加徴収」が始まります。

〜次号につづく〜



昨年、組合員と職員が協力して行った『地域医療を守る緊急署名』運動の様子。6,789筆が集まりました。

原水爆禁止2026年 世界大会in広島 代表派遣決定

8月4日～6日に行われる世界大会に、福島医療生協から2名を派遣します。みなさんの平和の想いを広島に届けてもらいます。応援のカンパをお願いいたします。



組合員代表の浅野さんと高校生のお孫さん

当初、職員代表で医師が参加する予定でしたが、業務の都合上、不参加となりました。事前にカンパのご協力をいただきましたみなさまは申し訳ございません。

戦争を考えるシリーズ ⑪

『父に生かされている』

東支部 斎藤 美代子
(さいとう みよこ)
(1942年生まれ)

私は昭和17年に、農家の長男である父と母との間に長女として生まれました。父は、私が物心つく前に出兵し、沖縄で戦死しました。父は優しく子煩悩で、来客の度に幼い私を自慢げに見せていたと聞きました。

幼いころは、母と祖父母にとっても可愛がられていたことで、寂しさを感じることとはありませんでした。しかし、成長するにつれて、父親がいる友人を羨ましく思ったり、困ったときに相談したかったと思ったり、40歳頃までは、ある日父が帰ってくるんじゃないかと思うこともありました。

未だに、父の話をすると自然と涙が出てきます。会いたかった、声を聴きたかった、温もりを感じたかったと思います。沖縄には娘と共に墓参に行き、慰霊碑に手を合わせました。

私は今年85歳を迎えます。息子家族と暮らし、昨年ひ孫が生まれました。娘家族とは70歳から年に1度の旅行が恒例になっていて、今が1番幸せです。

大きな病気をせず日々元気に過ごしているのは父に生かされていると感じます。人と人が殺しあいをする戦争ほど愚かな行為はありません。平和の上に、暮らしや健康があることを忘れてはいけません。

糖尿病学習会

わたり病院では、生活習慣の改善や糖尿病の発症予防、合併症の予防、良好な血糖コントロールについて理解を深め、日々の健康管理に役立てることを目的に、年3回「糖尿病教室」を開催しています。

2026年3月14日は「糖尿病と内臓脂肪」をテーマに開催し、24名の方にご参加いただきました。医師による講話のほか、放射線科、栄養科、リハビリテーション科のスタッフがそれぞれの専門分野から話をし、看護師からは災害時の備えについても紹介しました。

アンケートでは、「改善点がたくさんあることがわかり、参加してよかった」「また開催してほしい」といった感想が寄せられました。また、「合併症の兆候や受診までの応急処置について知りたい」「耳に関する病気についても学びたい」といったご要望もいただきました。今後みなさんからのご意見を生かし、より充実した糖尿病教室づくりに努めていきます。



次回は10月頃を予定しています。

お問い合わせは
わたり病院
(024-521-2056)まで

丹治先生を偲ぶ会のご案内



9月5日(土)とうほうみんなの文化センター小ホールにて、丹治先生を偲ぶ会を執り行います。時間等の詳細につきましては、後日ホームページやわたり病院内でお知らせいたします。

SDGs を考えよう



EMプリン石鹸

『人と微生物をつなぐ架け橋』

伊東 佑記

人にも環境にもやさしいEMプリン石鹸を紹介します。

EMとはEffective Microorganisms(有用微生物群)の頭文字で、乳酸菌や酵母、光合成細菌などの、人にも地球にも快適な環境を生み出す「善玉菌の集まり」を指します。1980年に開発され、農業や畜産、水産に限らず、水質浄化やごみ処理、建築、家庭全般、災害対策等世界で広く活用されています。プリン石鹸は固体と液体の中間で、プリン状の石鹸です。純度の高いシャボン玉粉石けんスノールとEMW(ハウスケア用の白いEM液)とぬるま湯で簡単に作れます。

手洗いや食器洗いにはもちろん、シャツの袖口や襟元、ご自宅のシンクや浴槽から、ガスレンジや換気扇等の油污れにも様々に使えます。家庭から排水として流れた石鹸カスは、短期間で水と二酸化炭素に生分解され環境中で微生物や魚のえさになります。

合成洗剤や柔軟剤などの人工的で強い香りによる「香害」で体調不良を訴える方が増えています。化学物質に頼らず、自分でプリン石鹸を手作りしながら使い続けることで環境に配慮した生活を実感できることが、SDGsにつながると思います。

◇EMプリン石鹸の作り方(例)◇

- ①きれいに洗ったペットボトルにぬるま湯(40℃以下)150mlをいれる。
 - ②漏斗等で粉石けんスノール30gを少しずつ入れる。この時、あまり泡立てないように、粉ミルクを溶かすような感じで行う。
 - ③さらに、ぬるま湯150mlを漏斗についた粉石けんを流しながら静かにいれる。
 - ④粉石けんがきれいに溶けたら、最後にEMW10mlをいれ、ペットボトルのふたを閉め、やさしく転がしてなじませる。
 - ⑤温度の低い場所において、プリン状に固まれば完成です。(夏場は、冷蔵庫や野菜室などに入れると固まります)
- ※完成後は1か月を目安にお使いください。
※粉石けんは粒子が細かいため、作業の際はマスク着用を推奨します。



すこしおレシピ

調理主任 菅島健夫

あじの南蛮漬け

・さっぱりとした南蛮漬けは夏バテ気味な日ごろの疲れを回復!
・今回は旬のあじを使用しましたが、鮭やサバ・お肉などでも作れる一品です。
・お酢や薬味でしっかりとした風味づけができ、醤油の塩分を控えても美味しく食べられます。
・みょうがや青しそ等、香味野菜を加えてアレンジ可能です。



1人分約**190kcal**

塩分**1.2g**

材料 (2人分)

小あじ(3枚おろし)… 2尾分(約160g)
塩…………… ひとつまみ
片栗粉…………… 適量
揚げ油…………… 適量
ねぎ…………… 10g
人参…………… 30g(1/6本)
きゅうり …… 30g(1/3本)

A

だし汁…………… 大さじ3
酢…………… 大さじ3
醤油…………… 大さじ1
本みりん…………… 大さじ1
砂糖…………… 大さじ1
赤唐辛子…………… 1本

作り方

- 3枚おろしにしたあじに塩をまぶし5分置く。キッチンペーパーで水けを取り片栗粉をまぶす。
- ねぎ・人参・きゅうりは千切りにする。
- Aを保存容器に入れてよく混ぜ②の野菜を加えてなじませる。
- 170℃に熱した揚げ油で①を6分揚げる。
- 油をきり③に10分以上漬けなじませる。
- 器に盛り付ける。

第10回

すこしおチャレンジ

参加者募集!

内容

①～③を2回測定します。

①推定塩分摂取量

②尿ナトリウム比(ナトリウム/カリウム)

③推定カリウム摂取量

※詳細はご本人へお渡し、もしくは郵送します。

費用

800円(尿検査代・問診票・資料等)

※お申込みの際にお支払いください。

チャレンジ期間

1回目: 9/1～9/11、2回目: 12/1～12/11

いずれも平日9時から12時まで(時間厳守)

※検体(尿)は、下記の提出先までお持ちください。

提出先

福島医療生協 組合員活動部

(住所:福島市渡利字中江町66)

結果

測定結果は、毎回ご本人へお渡し、もしくは郵送します。

締切

7/31(木)

無料

法律相談会

- 日 時／8月13日(木)、9月10日(木)
13時30分から15時30分
※日時は変更になる場合があります。
- 場 所／福島医療生協わたり病院内
電話申込制 TEL.522-1236
- 相談員／あぶくま法律事務所弁護士

お詫言正

機関紙463号(6月号)の3ページの内容に一部誤りがありました。

高校生対象企画 医療体験案内
＜診療放射線技師体験・臨床検査技師体験の体験日程＞
【誤】日程:8月4日(火)・8月10日(月)
【正】日程:8月3日(月)・8月10日(月)

第6回

禁煙絵てがみ・川柳コンクール

作品大募集!

～絵てがみや川柳で熱い禁煙メッセージを書いてみませんか?～

対象

年齢問わずどなたでも

作品の条件

①ひとり1作品(絵てがみもしくは川柳どちらか)

②郵便はがきのサイズ

③自作の未発表作品(画材は水彩・クレヨン・ちぎり絵など自由)

④作品の返却は不可

応募方法

郵送もしくは直接お届けください。

(作品の裏面に ①住所 ②氏名 ③連絡先 を必ず記入してください)

応募窓口

福島医療生協 禁煙絵てがみ・川柳係 宛
(住所:福島市渡利字中江町66)

応募期間

8/3(月)～10/30(金)

表彰

入賞者へは賞状と副賞を進呈します。

作品展示

応募された作品は「とうほうみんなの文化センター」に展示します。

展示期間 12/12(土) 12:00～16:00、12/13(日) 10:00～15:00

主催

福島医療生活協同組合



第5回入賞作品

8月の休診日のお知らせ

	8/10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)
わたり病院	開診	休診	開診	開診	開診	休診	休診
いいの診療所	休診	休診	開診	開診	休診	休診	休診
クリニックさくらみず	休診	休診	開診	午後休診	休診	休診	休診

※変更になる場合があります



福島医療生協機関紙

福島医療生協の機関紙は、左のコードを読み取ることでホームページ上でもご覧いただけます。



組合員活動部LINE紹介

日々の活動、様々な情報を紹介しています。
友だち追加はこちらから



第60回通常総代会を開催 2026年度がスタート

第60回通常総代会が6月13日(土)、「ウィル福島 アクティおろしまち」で開催され、すべての議案が承認されました。総代会では2025年度の活動と経営を振り返るとともに、2026年度の方針を確認しました。



専務理事
山口 裕
やまぐち ゆたか

2025年度のまとめ

2025年度は、世界各地で紛争が続く、平和への願いが一層強まる一年となりました。国内では物価高騰が続く、医療・介護を取り巻く環境も厳しさを増しました。診療報酬が低く抑えられる一方で、人件費や物価の上昇が医療機関経営を圧迫し、地域医療の維持が大きな課題となっています。

こうしたなか、福島医療生協では「地域医療を守る緊急署名」に取り組み、目標5,000筆を大きく上回る6,789筆の署名が寄せられました。組合員の力で地域医療を守る大きな運動となり、署名は国会へ届けられました。

組合員活動では、「わたりげんきまつり」や「渡利おでかけサポーターの会」、学習センタ―文化祭等を通じて地域とのつながりを広げました。健

康チェック活動では、新たに導入した骨密度計や体組成測定器が好評を博し、多くの住民の健康づくりに役立てられました。また、地域包括支援センターや町内会等との連携も進み、「健康づくりはまちづくり」の取り組みが広がっています。

恒例の禁煙ポスターコンクールには29校から439作品の応募があり、子どもたちとともに健康づくりを進める機会となりました。

平和を守る活動にも力を入れ、国民平和大行進や原水爆禁止世界大会への参加、核兵器禁止条約発効5周年のスタンディング行動等を通じて、核兵器廃絶と平和な社会の実現を訴えました。また、5月には渡利・瑞龍寺で「九条の碑」の除幕式が行われました。

事業面では、わたり病院が日本医療機能評価機構の認定更新を受けるとともに、県内初となる高度・専門リハビリテーションの認定も取得しました。一方で、病院経営は依然として厳しく、看護師不足によ

る病床制限等も発生しました。介護事業は黒字を確保しましたが、法人全体では厳しい経営状況が続いています。

2026年度の方針

2026年度のスローガンは『組合員で良かったと実感する生協をつくろう』です。

「健康で誰もが居心地よく暮らせるまちづくり」

「地域まるごと健康づくり」

「平和で安心して暮らせる社会づくり」

「求められる活動を推進できる組織づくり」

の4つを柱に、組合員と職員が力を合わせ、地域に必要とされる医療生協をめざして取り組みを進めていきます。



医療生協
わたり病院 院長
ほうじょう とおる
北條 徹

特別発言として、わたり病院の医療活動について発言がありました。その中から、内科・総合診療科と小児科について掲載します。

〈内科・総合診療科〉

内科・総合診療科は常勤医師が二番多く、当院の医療活動の大部分を占めています。外来入院患者数とも減少傾向です。これは全国的な傾向で、格差社会における医療へのアクセスの困難の他に、人口減少、医療の進歩、在宅医療の進歩、高齢者施設の充実等、複数の要因がかかりあっています。しかし、当院の最も重要な存在意義である『社会的に弱い立場の人たちに寄り添う医療活動』の中心が、この二つの診療科です。

常勤医師と院長の私の二人体制です。しかし、昨年度から義務化された「医師の働き方改革」のため、夜間休日の二次輪番(※2)担当の医師は、翌日は勤務できません。そのような状況で、外来、救急、入院にも対応しています。

〈小児科〉

当院の小児科には、週に1度、小児神経専門医の外来

があり、3ヶ月待ちという人気です。さらに、スピーチセラピストによる小児の言語リハビリができるのも、県北地区で唯一です。アレルギー専門医によるアレルギー外来は、当院の小児科において歴史のある分野で、紹介等も続いています。これらの特色ある小児科の専門分野での需要は決して衰えていません。

しかし、昨年取り組むと決めた医療的ケア児(※3)については、当院と希望側のマッチングが上手くいかず進んでいません。今年度の課題です。

この1年ほどの間に、全国でも福島でも、看護師不足と経営難で各病院のベッド数がどんどん減少しています。県北地域医療圏では、公立藤田総合病院、済生会福島総合病院、地域医療機能推進機構二本松病院、福島第二病院等がベッドの二部返上を県に届け出ました。わたり病院も現在、看護師不足で20床休床しています。物価高騰・人件費高騰のなか、経営的に大変苦しい状況です。今年度は医師の人員費にも手をつけました。

当院は、無差別・平等を理念とし、差額ベッド代を徴収せず、且つ、無料定額診療事業(※4)を提供し、経済的に適切な医療を受けられない方にも寄り添う病院です。二つ目には、私達と同じ理念を共有でき、地域に求められるしつかりした医療技術を持つ医師の後継者を育成

するという使命を持った臨床研修病院です。経営との両立は決して容易ではありませんが、工夫を重ねて活動していきたいと思っています。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

※1 総合診療科…複数の疾患を抱えている方やどの診療科を受診すべきか分からない初期段階の症状を総合的に診断し、専門医へ橋渡しをする。

※2 二次輪番…入院や手術が必要な重症患者が対象。

※3 医療的ケア児…日常的に人工呼吸器の管理や痰の吸引、経管栄養等の医療的ケアが欠かせない児童のこと。

※4 無料定額診療事業…経済的な理由で必要な医療費の支払いが困難な方に向け、病院が独自に医療費(一部負担金)を無料または定額に減免する制度。



第60回 通常総代会での発言

太極拳ひまわり班

太極拳ひまわりは、2008年3月5日にはじまりました。現在の会員は13人、平均年齢は80.4歳です。長続きの理由は『太極拳は覚えなくても大丈夫』、『先生が良い』、『みんなが良い人』、そしてなにより『当番制がない』ことです。第1回より18年以上、同じ人が会場予約をしてくれています。太極拳以外の活動でも予約を取るからと、1番大変な役割を担っていただき感謝です。

東日本大震災やコロナ等、大変な時期でも工夫しながらやってきました。当初から大事にしている『来た時よりも元気に帰る』を実行し、これからもみんなで笑顔で続けていきたいと思っています。



飯坂支部
安藤さん

渡利ふれあい会

『一人暮らしの高齢者が増えた』『月1回でも交流の場をもてたら喜ばれるのでは』との話し合いから、2010年10月にお茶会としてスタートしました。心当たりの組合員をリストアップし、必要に応じて送迎を行い、包括支援センターにも協力してもらいました。『帰宅して一人で昼食をとる』と聞き、昼食の提供も始めました。コロナウイルスの蔓延により食事の提供を中止していましたが、5月に食事の提供を再開し、新たな一歩となりました。

現在のふれあい会は、体操に始まり、季節に合わせた健康の話や誕生月のお祝い、ゲーム等さまざまです。これからも課題は出てくると思いますが、みんなで一緒に楽しみながら、協力して続けていきたいと考えています。



渡利支部
河野さん



リハビリテーション室
関口さん

達北ブロック 里山健康ウォーキング

1、2月の冬期を除き、年に10回、達北ブロック地区(伊達、桑折、国見、梁川、月舘、霊山、保原)の里山を歩きます。ただ歩くだけでなく、その地区の歴史や古代から伝わる山神信仰等を歴史ガイドや地元有志、プロジェクトチームの自前により、学びの場になっています。地元のことで知らないことがたくさんあります。

また、座学での学びも深めています。わたり病院の理学療法士による『歩き方・靴の選び方』は、想像を超える参加者で大盛況でした。最近は熊騒動が悩みの種ですが、安全第一で今後の活動を進めたいです。



川西支部
伊藤さん

SDGsごみ拾いウォークについて

北ブロック恒例の『さくらみずウォーク』を、今年はクリニックさくらみず周辺のごみを拾いながら歩くことになりました。チラシを作成し、機関紙に折り込み、民報新聞にも開催のお知らせを掲載してもらいました。

好天に恵まれた当日は、総勢47名が参加し、3グループに分かれて行いました。『距離が長かったががんばった』『思ったよりごみが少なかった』『結構たくさんあった』等、様々な声が聞かれました。足に自信のない人は豚汁づくりを担当し、それぞれの持ち場でがんばりました。大きな事故もなく終了でき、今度は秋の『さくらみず健康まつり』に向けがんばりたいと思います。



大笹生笹谷支部
大塚さん

回復期リハビリテーション病棟について

昨年12月、病院医療機能評価を受審し、高度・専門リハビリテーション(回復期)の認定をいただくことができました。

わたり病院の回復期リハビリテーションは、①長い歴史がある ②急性期病院と強い連携がある ③充実したスタッフ体制 ④手厚いリハビリの4つの特徴があります。機能訓練だけでなく、患者さんご家族が『人生自体を再構築していく』お手伝いをしています。入院中だけでなく、退院してからも安心して過ごしていただけるよう、関係職員一同これからも努力をつづけていきます。

支部表彰

優良賞

運営委員会を10回以上開催し、全国4課題のいずれかを2つ以上達成している支部

①組合員ふやし

②出資金ふやし

③担い手ふやし(5人以上または年度当初の3分の1以上)

④新班の結成(3班以上結成)

渡利支部、もちずり支部、松川支部、飯坂支部、大笹生笹谷支部、清水北支部、大森永井川支部、杉妻支部、川俣支部、霊山支部、川西支部

奨励賞

特徴的な企画・催し物等で班活動を活性化させ、支部活動の発展にも貢献している支部

渡利支部、霊山支部

班表彰

優良賞

1. 班会を5回以上開催、組合員を10人以上または年度当初の班員以上ふやし、社保活動にも努力している班

渡利支部(高谷ヘルシー班)、渡利支部(ココ班、渡利支部(シルバー班)、もちずり支部(ストローク班)、もちずり支部(ふじ班)、蓬萊支部(ふれあい班)、松川支部(どんぐり班)、平野余目支部(キャッツA班)、平野余目支部(キャッツC班)、平野余目支部(ほほえみ班)、吉井田支部(わたすげ班)、大笹生笹谷支部(リメーク班)、清水北支部(木いちご班)、清水北支部(お楽しみ班)、清水南支部(わかば班)、清水南支部(御山班)、あづま支部(あじさい班)、杉妻支部(ひまわり班)、霊山支部(宮内班)、霊山支部(小石田班)、保原支部(久保班)

2. 班会を10回以上開催、2年間以上継続している班

奨励賞

特徴的な企画・催し物等で班活動を活性化させ、支部活動の発展にも貢献している班

杉妻支部(にっこりマップ班)、飯坂支部(太極拳ひまわり班)

第60回通常総代会 支部・班表彰
受賞されたみなさん、おめでとうございます